

学校教育委員会報告



第4回 学校交流会を開催して

梶原 弘之*

Hiroyuki Narabara

河田 直樹**

Naoki Kawada

2022年9月3日(上)10時~15時で、学校教育委員会行事として、完全オンライン形式での学校交流会が、九州工業大学をホスト校として開催された。

参加者総数は、21名(内訳:学会役員3名、教員等学校関係者11名、学生7名)であった。第1回が計21名、第2回が35名、第3回が29名の参加であったので、参加者数が減少しているところが気になるが、この時期は多くの学校が夏休み中ということもあって学生の聴講者数が少なかったことが大きく影響していると考えられる。第5回以降、再び参加者が増加に転じるように企画していきたい。

今回の交流会の特色は、前々回と同様に学生賞受賞者の発表と、卒業研究中間発表を計画報告と中間発表に分けているところである。中間発表については、前回発表した学生もおり、研究の経過を知ることができる内容もあった。

全体の発表テーマは3Dプリンタ関係の内容が増加傾向にあり、発表大会とは異なる傾向になっていることが感じられた。

今回の全体のプログラムは以下の通りである。

<交流会プログラム>

1. 開会の挨拶

学校教育委員会 委員長 九州工業大学 梶原弘之

2. 2022年品質工学会学生賞受賞研究の記念発表

司会 埼玉工業大学 河田直樹

2-1 審査表彰部会長挨拶

審査表彰部会 部会長 田村希志臣

2-2 受賞者記念発表

3Dプリンタ試作品と射出成形部品におけるスナッフフィットの機械的物性値関係性調査

九州工業大学 岡松遥平(指導教員 梶原弘之)

3. 学生による卒業研究中間発表

司会 各指導教員(リレー方式)

3-1 研究計画報告

3-1-1 「振動データによる切削加工機械の状態監視システムの基礎的研究」

埼玉工業大学 工学部機械工学科4年 前濱央果
(河田研究室)

3-1-2 「3Dプリンタを用いたウクレレ最適設計の基礎研究」

埼玉工業大学 工学部機械工学科4年 渡辺渉太
(五味研究室)

3-1-3 「静電式インクジェット装置の最適描画条件の検討」

西日本工業大学大学院 工学研究科修士2年
高月紅(石田研究室)

3-2 研究中間報告

3-2-1 「特徴量を考慮した鉄道車両のデータリンク型状態監視システムの研究」

埼玉工業大学大学院 工学研究科
博士前期課程2年 池田圭佑(河田研究室)

3-2-2 「MTシステムを用いた射出成形における糸引き異常検知手法」

埼玉工業大学大学院 工学研究科
博士前期課程2年 金城寿(福島研究室)

3-2-3 「FDM方式による多数同時成形品の寸法最適化に対する成形空間内の熱環境と成形条件の影響」

明治大学大学院 理工学研究科

*九州工業大学

**埼玉工業大学